

住生活基本計画（全国計画）、長野県住生活基本計画（素案）、第五次長野市総合計画と長野市第二次住宅マスタープラン後期基本計画など 住宅・住生活に関する計画の概要

全国計画（目標と基本的な施策）	
居住者からの視点	目標 1：結婚・出産を希望する若年世帯・子育て世帯が安心して暮らせる住生活の実現 (基本的な施策) ①収入等の状況に応じて必要な質・広さの住宅に居住できるよう支援 ②三世帯同居・近居の促進 ③地域ぐるみで子どもを育む環境を整備
	目標 2：高齢者が自立して暮らすことができる住生活の実現 (基本的な施策) ①「新たな高齢者向け住宅のガイドライン」の策定 ②サテライト住宅等の供給促進や「生涯活躍のまち」形成 ③高齢者世帯・子育て世帯等の支援施設等の地域拠点の形成 ④リバースモーゲージの普及、住み替え等関連資金の確保 ⑤資産活用や住み替えに関する相談体制の充実
	目標 3：住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保 (基本的な施策) ①空き家活用の促進、民間賃貸住宅を活用した新たな仕組の構築（住宅セーフティネット） ②居住支援協議会の設置等を支援 ③公営住宅、UR等の公的賃貸住宅を適切に供給（PPP/PFI等を含む） ④公的賃貸住宅団地の建替え等の実施、高齢者・子育て支援施設等地域拠点の形成 ⑤資産活用や住み替えに関する相談体制の充実
住宅ストックからの視点	目標 4：住宅すぐろくを超える新たな住宅循環システムの構築 (基本的な施策) ①資産としての価値を形成するための施策の総合的な実施 ②長期優良住宅等の良質で安全な新築住宅の供給 ③住宅を担保とした資金調達を行える住宅金融市場の整備育成
	目標 5：建替えやリフォームによる安全で質の高い住宅ストックへの更新 (基本的な施策) ①耐震性を充たさない住宅の建替え等による更新 ②耐震性、耐久性等、省エネ性の向上と適切な維持管理の促進 ③健康増進、魅力あるデザイン等投資意欲が喚起され、効果が実感できるリフォーム促進 ④密集市街地における安全を確保するための住宅建替え、リフォーム促進策の検討 ⑤民間賃貸住宅の計画的な維持管理を促進するための修繕資金確保の手段を検討 ⑥消費者の相談体制や事業者登録制度の充実・普及 ⑦マンションの維持管理・建替え・改修に関する施策の総合的な実施
	目標 6：急増する空き家の活用・除去の推進 (基本的な施策) ①新たな住宅循環システムの構築 ②空き家を活用した地方移住、二地域居住等の促進 ③古民家等の再生や他用途活用を促進 ④介護、福祉、子育て支援施設、宿泊施設等の他用途への転換の促進 ⑤DIY型賃貸借当の多様な賃貸借の形態を活用した既存住宅の活用促進 ⑥利活用や売却・賃貸に関する相談体制、所有者等の情報の収集・開示方法の充実 ⑦空家持株法などを活用した計画的な解体・撤去を促進
産業・地域からの視点	目標 7：強い経済の実現に貢献する住生活産業の成長 (基本的な施策) ①地域材を用いた木造住宅の供給促進や設計者や技能者の育成等の生産体制整備 ②伝統的な技術の継承とCLT等の部材・工法等の新たな技術開発を推進 ③住宅ストックビジネスの活性化を推進し、多角化する住生活産業に対応した担い手確保 ④住生活関連の新たなビジネス市場の創出・拡大と住生活産業の成長を促進
	目標 8：住宅地の魅力の維持・向上 (基本的な施策) ①スマートウェルネスシティ等との連携による居住環境・住宅地の魅力の維持・向上 ②住宅団地再生と地域拠点の形成による地域コミュニティと利便性の向上 ③建築協定や景観協定等の活用と豊かなコミュニティの維持・向上 ④マンションコミュニティ活動の多様な主体と適切な役割分担による推進 ⑤密集市街地の改善整備、ハザードマップの情報提供、災害時の安全性の向上

長野県住生活基本計画（素案） 平成 28 年度～平成 37 年度	
【基本理念】 ～信州の住みよい暮らしを次代につなぐ～ 安心ですこやか、多様な暮らしを支える住まいをめざして	
【基本な視点】 ◇少子高齢化、人口・世帯数減少社会への対応 ◇地域の特性や実情への配慮 ◇暮らしにかかわる他分野との連携	
目標 1 地域の資源を活かした環境にやさしい住みづくり (基本的な施策) ①地産地消の住みづくり ②二酸化炭素排出量の削減に配慮した住みづくり ③環境と共生する住みづくり	【主な目標達成指標】 すべての窓が二重サッシ 又は複層ガラスの 住宅ストックの割合 24.0%⇒35%
目標 2 災害に強く快適で健康な住みづくり (基本的な施策) ①暮らしを守る安全・安心な住みづくり ②健康長寿に適した住みづくり ③長く活用される良質な住みづくり	【主な目標達成指標】 住宅の耐震化率 77.5%⇒95%
目標 3 誰もが安心して暮らせる住まいの提供 (基本的な施策) ①地域的・社会的ニーズに応じた公営住宅の運営 ②民間賃貸住宅と連携した住宅セーフティネットの充実 ③速やかな被災者の住まいの確保	【主な目標達成指標】 公営住宅の供給量 14,600戸
目標 4 地域の特性に応じた活力あるまち・むらづくり (基本的な施策) ①多世代が生き生きと暮らす地域づくり ②住まいの適正な維持管理と空き家対策 ③地域の魅力を活かした居住環境づくり	【主な目標達成指標】 子育て世帯における誘導 居住面積水準達成率 56%⇒70%
目標 5 地域の住まいを支える住生活産業の成長・発展 (基本的な施策) ①地域に根ざした住宅産業の継承 ②住生活産業の多角化・成長 ③既存住宅の流通、リフォーム市場の拡大	【主な目標達成指標】 リフォーム実施率 (持家) 6.4%⇒8%
【住宅・住生活に関する話題やトピック】 ◆急増する空き家 ◆防災への備えや減災への取り組み ◆マンション管理の問題 ◆県営住宅削減（10年で2千戸） ◆住みづくりの担い手不足 ◆民泊 ◆相続対策としてのアパート経営 ◆スマートハウス ◆シェアハウス	

第五次長野市総合計画 前期基本計画（素案） 平成 29 年～平成 33 年	
【まちの将来像】 幸せ実感都市『ながの』 ～“オールながの”で未来を創造しよう～	
【テーマ 1】「活力あるまちづくり」～定住人口の増加に向けて～ 『子どもを産み育てる』 『いつまでも健康に暮らす』『元気な体をつくる』 『仕事生まれる』『企業が育つ』	
【テーマ 2】「にぎわいあるまちづくり」～交流人口の増加に向けて～ 『存在感を示す』『人が集う』『文化・スポーツを楽しむ』 『新しい人の流れをつくる』	
【テーマ 3】「魅力ある地域づくり」～暮らし続けられる環境づくりに向けて～ 『安心して暮らす』ともに支える』 『地域が輝く』『生活機能を守る』『自然を保全・活用する』	
長野市第二次住宅マスタープラン 後期基本計画	
【基本理念】 安全・安心とやさしさのある住まい 活力あふれ地域とのつながりをもった住生活 自然豊かで環境に配慮した快適な住環境	
テーマ 1：誰もがいきいきと生活できる住まい・まちづくり (1) 公営住宅の供給 (2) 高齢者福祉施策との連携 (3) 障害者福祉施策との連携	
テーマ 2：快適でゆとりある生活を支える住まい・まちづくり (1) 良質な持家ストックの形成 (2) ファミリー世帯への支援 (3) 安全・安心と環境・健康に配慮した住まい・まちづくり	
テーマ 3：地域の自然や歴史と共生した活気ある住まい・まちづくり (1) 市街地の定住促進 (2) 中山間地域の魅力を活かした住まい・地域づくり (3) 景観に配慮した住環境の維持保全	
テーマ 4：市民とのパートナーシップによる住まい・まちづくり (1) 住宅市場を活かす住宅提供体制の整備 (2) 市民主体のまちづくりの普及促進	